

# 平成28年大衡村成人式開催

## 77名の新成人が誕生



▲誓いの言葉を述べる佐藤未来さんと山本陵二さん



▲式辞を述べ祝福する萩原村長

1月10日(日)、平林会館において平成28年大衡村成人式が開催され、今年も77名が成人を迎え、52名が出席しました。  
 式典では、萩原村長が「成人となられた皆さんは、ひとりの大人として権利と義務を果たすべく、社会に対して自覚と責任のある行動が求められることとなります。責任ある大人として積極的に社会に参加し、これから訪れる幾多の困難に、若さと行動力をもって立ち向かい、将来の大きな夢と希望を叶えてほしいと思います。」と式辞を述べ、新成人を代表して山本陵二さん(藤崎)と佐藤未来さん(衡中)のお二人が大人としての決意と誓いの言葉を述べました。  
 式典終了後は、新成人者による実行委員会が企画したビデオレター鑑賞やビンゴゲームなどを楽しみながら、恩師を交えての心に残るひとときを過ごしました。



▲新成人による村民憲章朗唱



▲村から記念品が贈られました

## 成人おめでとう



▲祝福のビデオメッセージが届きました



▲あの頃を思い出し・・・恩師から乾杯のあいさつ!



▲和気あいあいとビンゴゲーム!



▲カメラに囲まれ記念撮影



▲ご家族も晴れ姿を見届けました



▲お祝いにつけてくださった先生方に感謝



▲式前に青空の下で

本日は私たちが新成人のためにこのような盛大な式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。  
 新成人一同を代表して、心よりお礼申し上げます。  
 成人式を迎えるにあたり、村長さんをはじめご来賓の皆様からのお祝いとお励みの言葉をいただき、とてもうれしく思います。  
 成人式は、戦後の激しい社会情勢の中で、将来を担う若者たちを激励しようというこころで、1946年から行われるようになったと聞きました。当時の新成人たちは自分の国を立て直そうという想いで奮起したことだろうと思います。本日、成人式を迎えた私たちにも多くの方々の激励によって、社会を牽引していくという強い気持ちが、今日改めて生まれたはずだと感じます。  
 2011年3月11日、私たちの人生の中で大きな一日となったこの日、幼い時から共に過ごしてきた大衡中学校の仲間たちとの卒業の門出の日でもあり同時に、そのかけがえのないつながりが、あの東日本大震災という未曾有の出来事によって引きはがされました。当時の私たちが、まだ子どもでもあり、周りの大人たちについていくのが精一杯で、自分たちから行動を起こそうとするにはまだまだ未熟者でした。そんな中、全国そして世界中からの励ましの言葉や支援をこの身に体験しました。あれから5年が過ぎ、社会に出て働いている友もいて、自分の将来に向かって勉強に動いている友もいて、皆それぞれの道を歩んでいます。  
 成人を迎えた今日から、それぞれの道を歩んでいく中で、自分たちが社会を牽引し、あの時いただいた世界中からの声援のように社会に貢献していきます。  
 新成人として、もう一度噛みしめておきたい言葉があります。私たちの恩師である中学校の時の先生からいただいた三つの言葉「漸進・驀進・邁進」です。新成人として最初は不安なこともあるかもしれませんが、そんな時こそ、一步一步前へ進む漸進。社会を引っ張っていくことができそうになったら、勢いよくまっすぐに進む驀進。そして、どんな時も何が起きても恐れることなく突き進む邁進。この言葉を私たちが歩んでいる今の道で噛みしめて進んでいきます。  
 最後にになりましたが、ここまで育ててくれた両親、将来の道をご指導くださった先生方、ともに大切な時間を過ごしてきた仲間たち、そして20年間支えてくださったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、成人としての決意を忘れず、恐れることなく、力強く、たくましく生きていくことを誓って新成人代表の挨拶とさせていただきます。



新成人感想発表  
 永井 光生さん(衡東)